

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震以後に活動が高まった富士山周辺の地震活動（2011年3月）*

Seismicity around Fuji Volcano (March 2011)

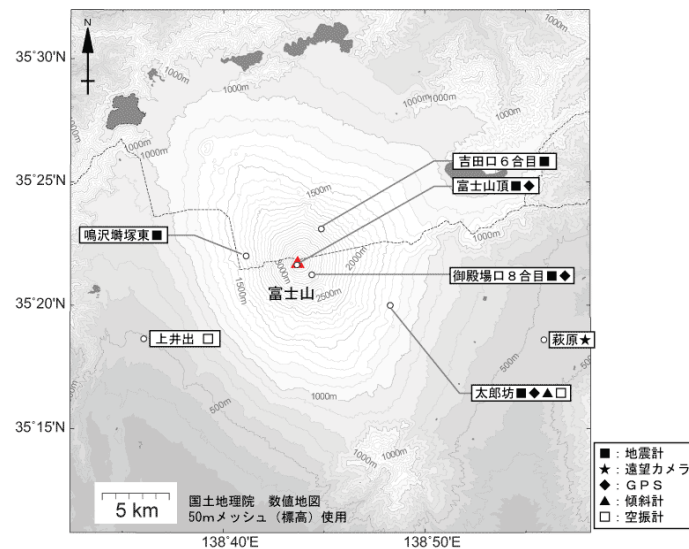
気象庁地震火山部火山課

Volcanological Division, Japan Meteorological Agency

東北地方太平洋沖地震（3月11日14時46分、M9.0）の発生直後は山体周辺の地震活動はみられなかった。3月15日22時31分に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震（M6.4、最大震度6強）が発生した。その後、その震源から山頂直下付近にかけて地震が多発したが、地震数は順調に減少しつつあり、余震活動とみられる。3月15日～31日の間に、最大震度6強を観測する地震が1回、最大震度3が3回、最大震度2が5回、最大震度1が12回発生した。

深部低周波地震は、3月は2回（11日以降は0回）と静穏な状況である。

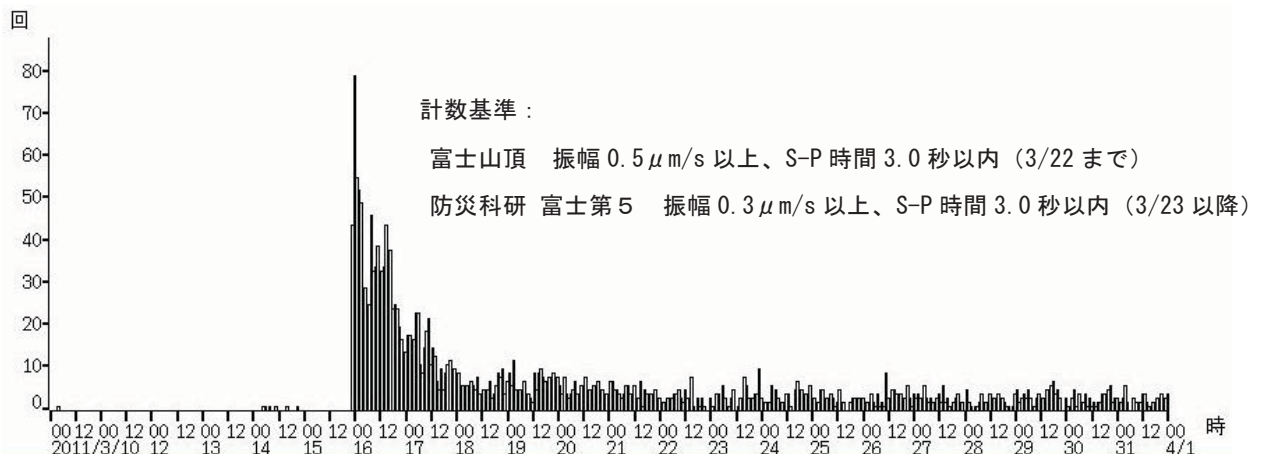
当該期間中に火山性微動は観測されていない。



第1図 富士山 気象庁の観測点配置図

Fig.1 Location map of JMA permanent observation sites around Fuji volcano.

この図の作成には、国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用した。



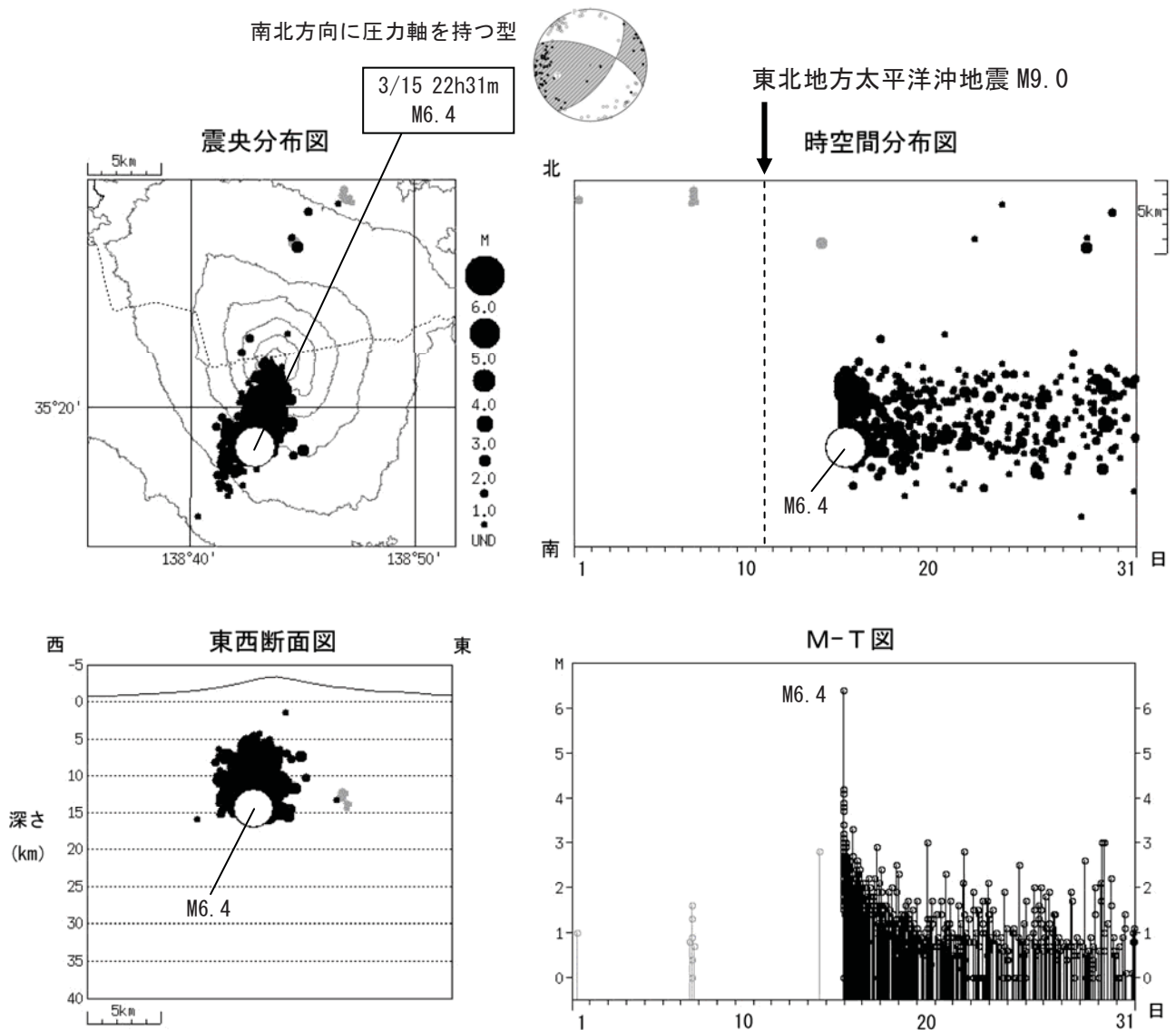
第2図 富士山周辺の特別地震回数（2011年3月10日～3月31日）

Fig.2 Hourly number of earthquakes around Fuji volcano (March 10-31, 2011).

*2011年5月2日受付



高周波地震



第 3－2 図 富士山 広域ネットによる山体・周辺の地震活動 (2011 年 3 月 1 日～3 月 31 日)

Fig.3-2 Hypocenter distribution of earthquakes around Fuji volcano (March 1-31, 2011).

● : 2011 年 3 月 1 日～3 月 10 日

● : 2011 年 3 月 11 日～3 月 31 日

この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータを利用して作成した。この地図の作成には、国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用した。